

あたたかく たくましく まえむきに生きる子ども  
「みんなでつくる みんなが大好き 染地小学校」



染地小  
HP

令和8年3月13日

○自分も人も大事にする子ども ◎自分で考えて行動する子ども ○自分からチャレンジする子ども

# 染地小だより

学校評価  
臨時号

調布市立染地小学校 校長 八木橋小百合  
<http://www.chofu-schools.jp/somechi-sho>  
電話 042-485-1285 FAX 042-499-4181

## 令和7年度染地小学校の教育活動についてのアンケートまとめ

副校長 川井 弾

保護者のみなさまに、令和7年度の染地小学校の教育活動に関するアンケートを実施いたしました。多くの保護者のみなさまのご回答をいただき、ありがとうございました。

児童対象に実施した「学校生活アンケート」と校内教職員に実施した「学校評価（校内）アンケート」と合わせた集計結果をご報告いたします。

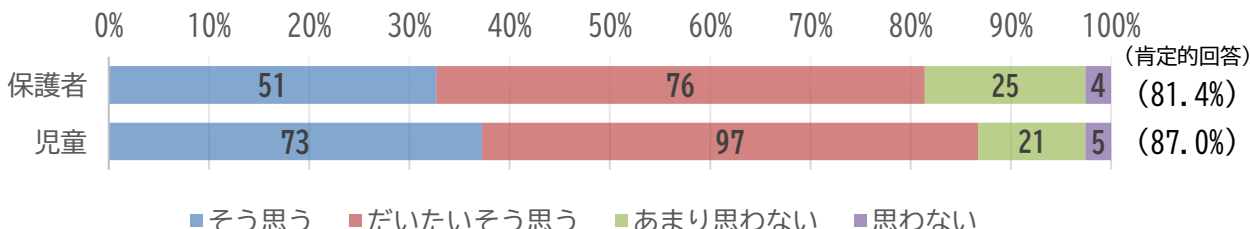
### アンケート概要

	回答形式	実施時期	回答数（回答率）
保護者	Google form	12月	156/209(74.6%)
児童	Google form (4~6年生) 質問紙 (1~3年生, たけのこ学級)	12月(★)	196/209(93.7%)
		1月(☆)	199/211(94.3%)

※児童は、設問により回答数が異なるものもあります。

### 【あいさつについて ★】

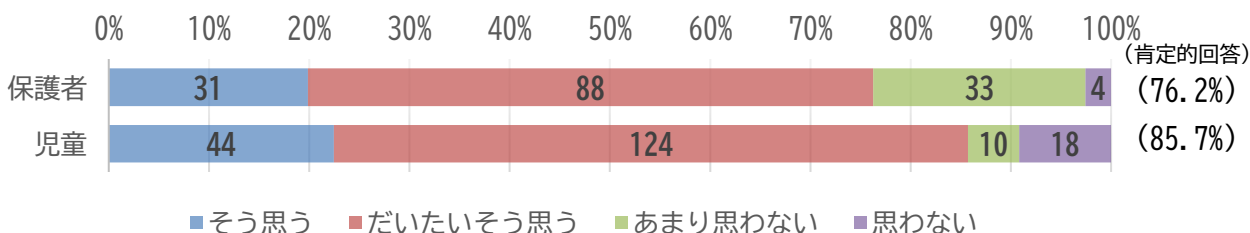
お子さんは、あいさつをする習慣が身に付いていますか。



保護者、児童ともにあいさつについて8割以上が肯定的にとらえています。あいさつ週間をはじめ、年間を通して「相手の目を見て」「元気な声で」あいさつをする。また、時間と場所に応じたあいさつをすることを児童が意識的に取組めるよう、指導に努めていきます。

### 【言葉遣いについて ★】

お子さんは、相手や場所に応じた言葉遣いが身に付いていますか。

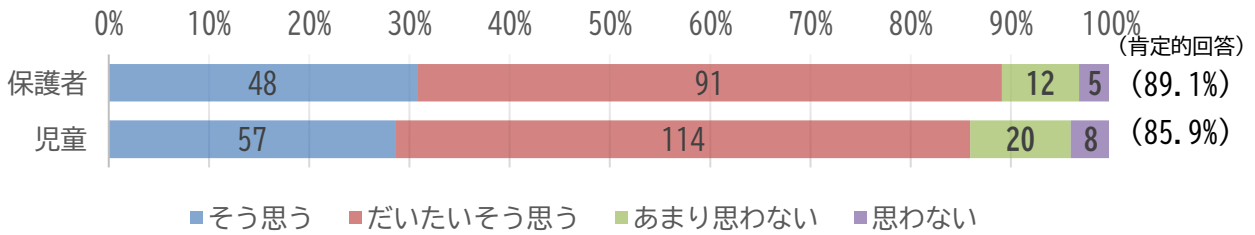


言葉づかいに対する意識は保護者と児童との間で差が生じています。家族に対して、友達に対して、それぞれに応じた言葉づかいや、授業中と放課後などの遊びの場面など、友だちの呼び方にも場に応じること、相手を気遣った言葉選びについて指導を継続していきます。

### 【学力の定着について ☆】

お子さんは、現在の学年までの学習が身に付いていますか。〔通常の学級〕

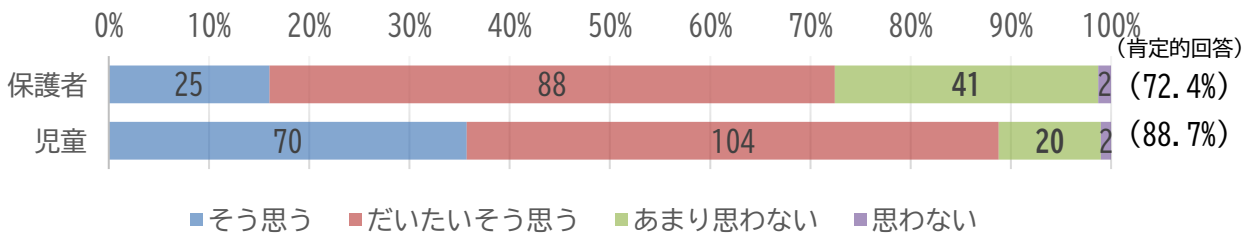
お子さんは、個別指導計画に記載のねらいに沿った学習が身に付いていますか。〔特別支援学級〕



☞ 保護者、児童ともに約8割が肯定的にとらえています。年間を通して、授業で学んだこと、できることが増えたことが実感できるよう、「学びの目的」を明確にし、一人1台モバイル端末などを活用しながら「どこまで学ぶことができたか。身に付いたか。」という児童が達成感を味わえるように授業力向上をめざします。

### 【食育への関心について ★】

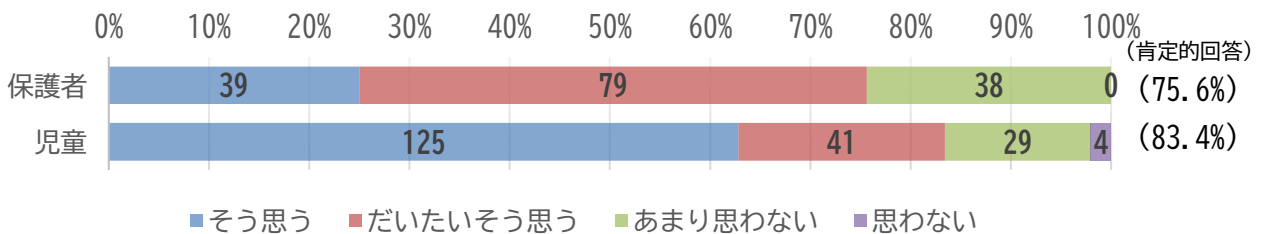
お子さんは、基本的な食事のマナーが身に付いていますか。



☞ 児童8割以上は「食事のマナー」に対して肯定的（できている）にとらえていますが、保護者は7割程度にとどまっています。学校では「食器の扱い」や「配膳の仕方」などを指導しています。家庭でも意識して食事をするよう、ご理解・ご協力をお願いします。また、「食物アレルギー」についての指導も継続的に全校で取り組み、食に対する正しい知識と意識が身に付くよう、今後も指導をしていきます。

### 【健康への意識について ☆】

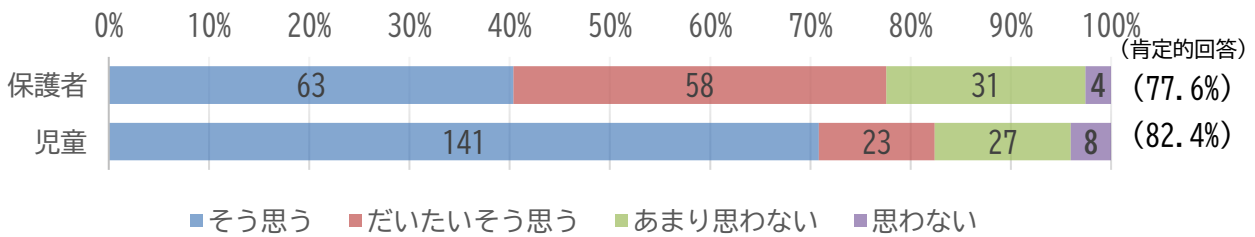
お子さんは、自身の健康について関心をもって過ごしていますか。



☞ 児童の8割以上が「健康に関心をもっている」ととらえています。昨年度が6割に達していませんでしたので、本校での健康に関する教育活動が児童に意識されてきたと感じています。学校では、各学期の初めに保健指導を行ったり、足育についての指導を行ったりして、健康に対する関心を高められるような取り組みを行っております、今後も継続して健康に関する意識・関心が高められる指導を進めていきます。

【運動習慣について ☆】

お子さんは、日頃より身体を動かすことに親しんでいますか。

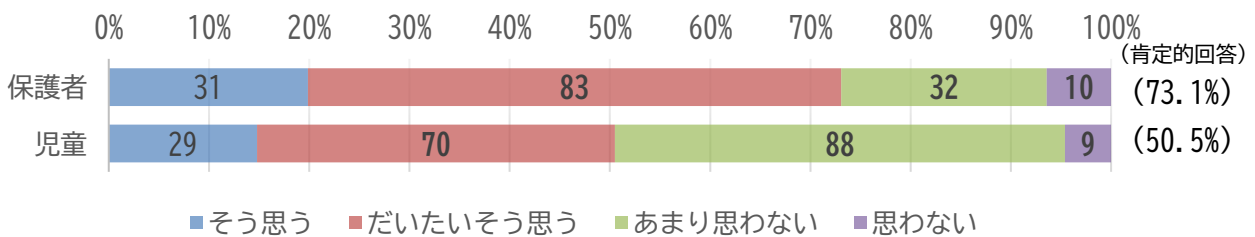


☞ 運動習慣について、保護者、児童の約8割が肯定的にとらえています。学校として次年度も、年間を通した体育科の授業の充実、その他「短なわ旬間」や「持久走月間」など、運動に親しむための取り組みを進めてまいります。また、夏場の高温によって校庭が使用できない状況においても、体育館やホールで取り組める運動を体育の授業だけでなく休み時間などでも取り組めるようにしていきます。

【通常の学級と特別支援学級との交流について ★】

お子さんは、特別支援学級の友達と、仲良く交流していますか。〔通常の学級〕

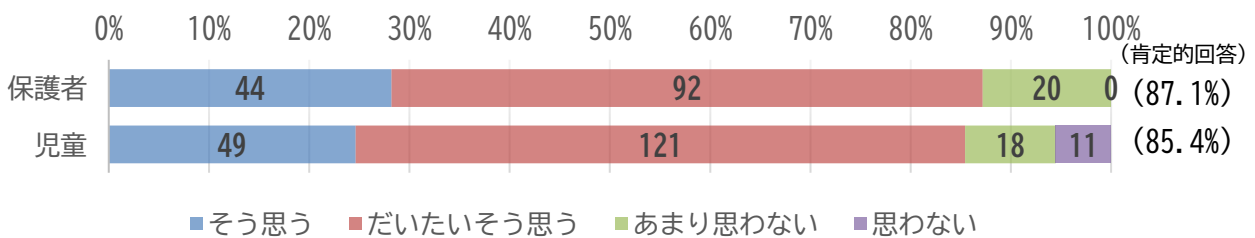
お子さんは、同学年の友達と、仲良く交流していますか。〔特別支援学級〕



☞ 通常の学級と特別支援学級との交流について、保護者、児童ともに前年度に比べ、改善傾向にあります。依然として他の設問を比較すると、肯定的評価が低い傾向にあります。特に、「仲良く交流できていますか」との問いに対し、通常の学級の児童とたけのこ学級の児童との間に交流への関心の差がみられました。年間を通して「運動会」での交流や各学期に行われる「交流集会」を進め、お互いの学級の児童に交流を通してともに過ごす意識を育てていきます。また、「障害理解教育」を進め、お互いの良さや頑張りを認め合える関係づくりを行っていきます。教職員も、子ども一人一人の支援の方策について理解を深め、「全教職員で全員を育てる学校」を目指していきます。

【個人に応じた指導，少人数編成による指導 ☆】

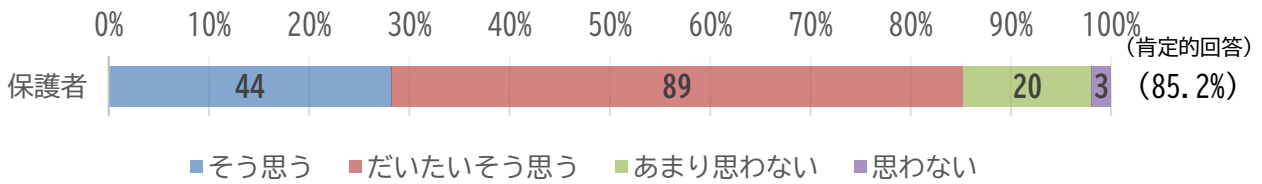
お子さんは、個人に応じた指導方法で学習に取り組んでいますか。



☞ 少人数指導をはじめとした個人に応じた指導に関して保護者、児童の8割以上が肯定的にとらえています。次年度も算数少人数指導をはじめ、各教科においても学習のめあてに向けて、児童一人一人に目標と進め方などを決定し取り組む「自由進度学習」をさらに一歩進め、「自己調整学習」に取り組み、自分で考え、主体的に行動できる子どもの育成に努めていきます。

【教育活動の情報発信について 対象：保護者のみ】

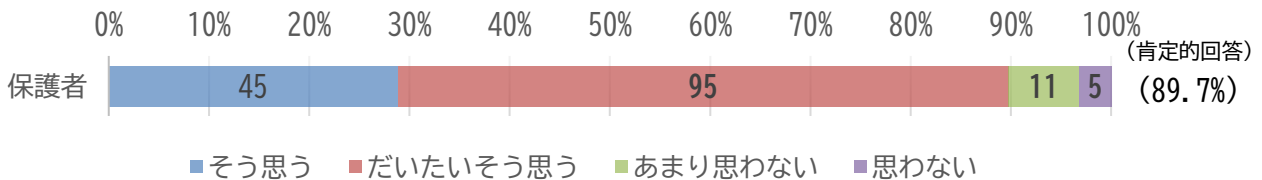
「学校だより」や「学年だより」、ホームページなどで学校の様子などが伝わっていますか。



本校の教育活動の情報発信について、本年度は保護者のみアンケートを行いました。保護者の8割以上が情報発信について肯定的にとらえています。次年度も、『学校の今』が分かるよう、「学校ホームページ」や「学校（染地小）だより」、「すぐー」などを活用し、情報発信に努めます。

【外部人材の活用、体験的な学習について 対象：保護者のみ】

お子さんは、外部人材（学習支援員やゲストティーチャー）を活用した学習や校外での学習に対して、楽しんで取り組んでいる様子が見られますか



外部人材を活用した授業や校外での学習活動について、本年度は保護者のみアンケートを行いました。約9割の保護者がこの学習活動を肯定的にとらえています。学校ホームページでの発信だけでなく、お子さまがご家庭でお話されている結果であると捉えています。

今年度から、本校はコミュニティ・スクールになりました。学校運営協議会のご意見や保護者の皆様のご意見をうかがいながら、より一層、地域と保護者、学校が一体となって、子ども達に日常では味わえない体験や学びを多くができるように努めます。

【自由記述】 その他、染地小学校は「みんなで子どもを育てる学校」を目指してきました。さらに染地小学校の教育が、みんなの協力で良くなる取り組みや要望がありましたら、ぜひお知らせください。

〈あいさつに関するご意見〉

- ・あいさつ運動を強化してほしい
- ・子どもが笑顔と挨拶が自然に出来るようになってくれることを願っております。親が言えばやる、という状況から抜け出せずにいます。学校生活で身につけてもらえると嬉しいです。

〈交通安全に関するご意見〉

- ・学校近くの横断歩道に見守りのボランティアさんなどを配置していただくことを、調布市に願うことは可能でしょうか。入学してから今まで近くの横断歩道前まで見送りをしていますが、車（京王バス含め）がなかなか止まってくれず、今まで2、3回ほどヒヤリとしたことがあります。右から来た車が止まっても、左からくる車はノーブレーキで、子どもはそれに気づかず途中で渡ってしまい大声で止まりなさいと子どもを静止したこともあります。学校は染地小で本当

に良かったなと思っていますが、登校時・通学路の安全面だけがとても気になっていますので子どもが安全に登下校できる取り組みがあれば良いなと思いました。

- ・最近スマートフォンを見ながら運転している自動車や自転車をよく見かけます。いつ、事故が起きてもおかしくない状況が常態化しています。地域の住民による見守りや警察との連携で、安全性を高めることにより、その後の取り組みが活きてくると思います。

#### 〈不登校対策に関するご意見〉

- ・日頃から柔軟に様々な対応を取り入れて実行して下さっていると感じます。不登校に関連したニュースでアンケート結果をあつかっていましたが、「オンラインでの授業参加が出席扱いにできる事を知らなかった」という回答が半数近くありました。染地小ではすぐにお知らせ下さったので、取り組みが早く柔軟なのだと知りました。

#### 〈児童対応に関するご意見〉

- ・クラスを運営する上で、学校職員の他、外部の人材も取り入れたり、教室に防犯カメラを設置したりすることも検討してほしい。
- ・学校内での子ども同士のトラブルや問題があった際の解決能力高めてほしい。

#### 〈児童同士の交流活動に関するご意見〉

- ・多国籍の子どもが在籍するようになってきたので、外国の文化や言語をより身近に感じ親しみをもてるような機会があるといいと思います。
- ・担任のおかげで気持ちも安定して楽しく学校生活を送れています。本当にありがとうございます。今後とも、染地小の全ての先生方が協力し見守って頂きますよう心よりお願いします。
- ・子どもそれぞれに特性がある為、地域の方々が関わる行事などに参加しても取り組みや理解が難しいこともあると感じています。特別扱いをしていただきたいわけではありませんが、『みんな』とされる側に、『子ども』の中には特性がある子どももいて、多少の配慮が必要なことを、まずは知っていただくことが大切かなと思います。
- ・たけのこ学級教員の方々、支援員の方々、沢山の方々に見守られて、6年間でわが子は大きく成長してくれています。まさに“みんなで子どもを育てて頂いている”と思っています。

#### 〈学校行事に関するご意見〉

- ・コロナ前にあったふれあい祭り（クラスごとにお店を開催）を復活させて欲しかったです。以前行われていたときは、自主性を持ってお店を運営することが、心の発達にとってもよい影響があったと感じていました。地域の方々を呼ぶことで、地域での子育てにつながっていくと思います。

今年度本校は「みんなでつくる みんなが大好き 染地小学校」をスローガンに教育活動を進めてまいりました。本校の教育活動に対して肯定的なご意見の他、改善点、課題のご指摘など、多くのご意見を頂戴しました。

どのご意見も、「みんなで染地小学校の子どもを育てよう」という強い思いを感じられるものばかりで、本校教職員一同次年度以降の教育方針を改めて考えさせられるものでした。みなさまの思いを次年度の教育活動へ生かしてまいります。

**みなさまのご協力ありがとうございました。**